

# *INTER COOLER* **Standard Edition** **SE**

“BLITZ” means the ability to progress, every performance parameter of the motor-car. Established in 1980 “BLITZ” has developed and evolved automotive.

取 付 説 明 書

**SKYLINE GT-R**  
**BNR32/BCNR33/BNR34**

**BLITZ**



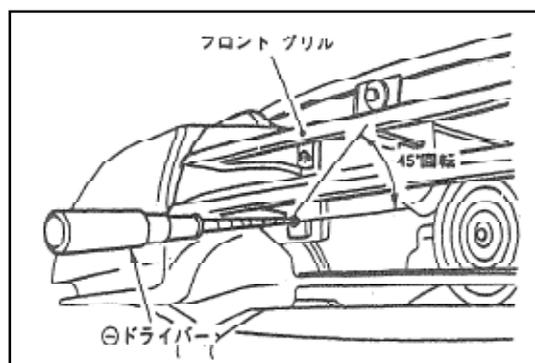
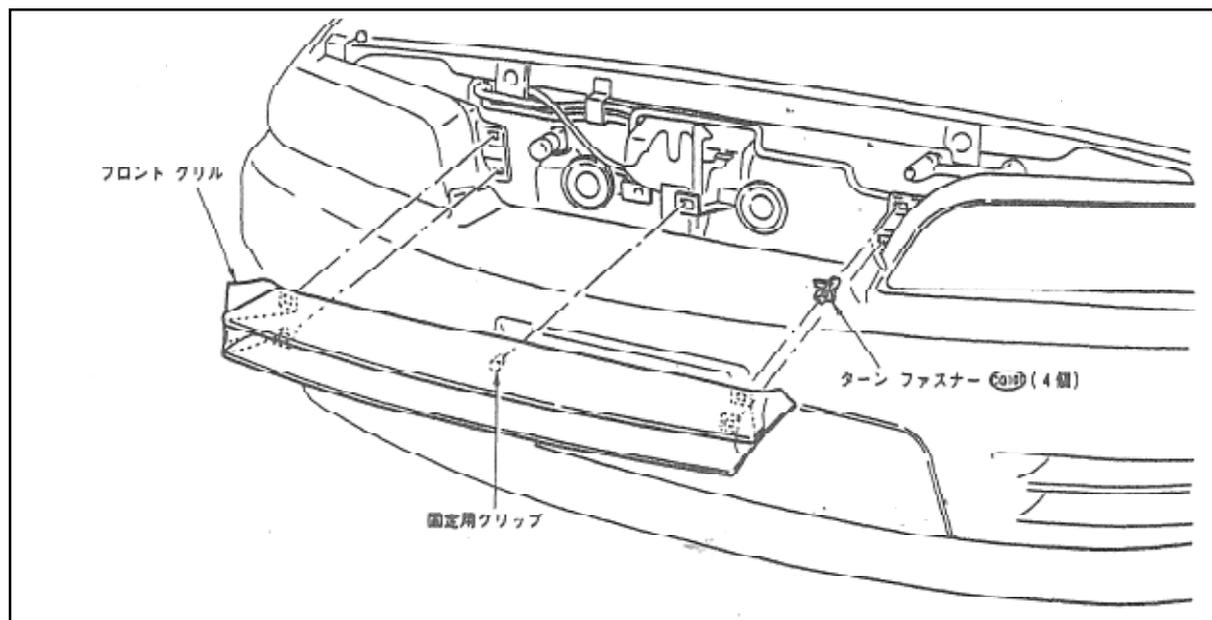
# R32 GT-R 組付作業手順

作業の方へお願い

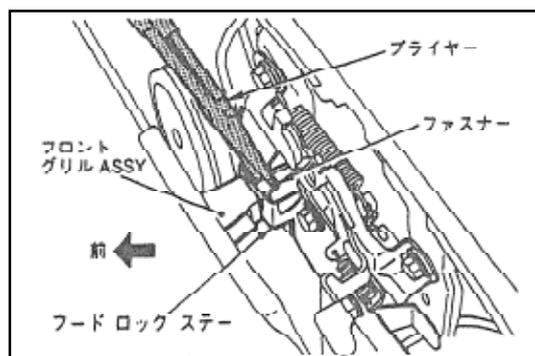
■作業が終了しましたら、本取扱説明書は必ずお客さまに返却して下さい。

## 1 ノーマルパーツ取り外し。

- (1) バッテリー⊖端子を取り外して下さい。
- (2) ボディーに傷が付かない様にカバーをして下さい。
- (3) フロントグリルを取り外して下さい。

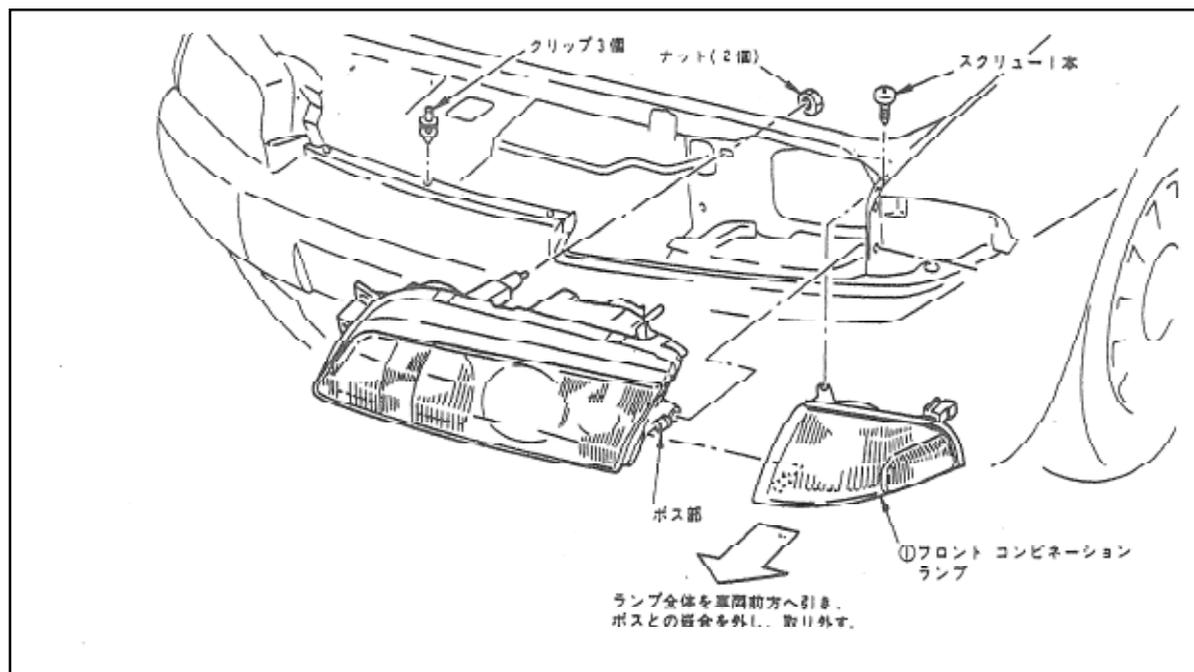


【ポイント1】 ターンファスナーの取り外し。  
グリルの上側ターンファスナー頭部溝に、  
⊖ドライバーを差し込み45°回転させて下  
さい。  
⊖ドライバーにテープ又は布を巻いてグリ  
ル及びバンパーの傷付きを防止して下さい。

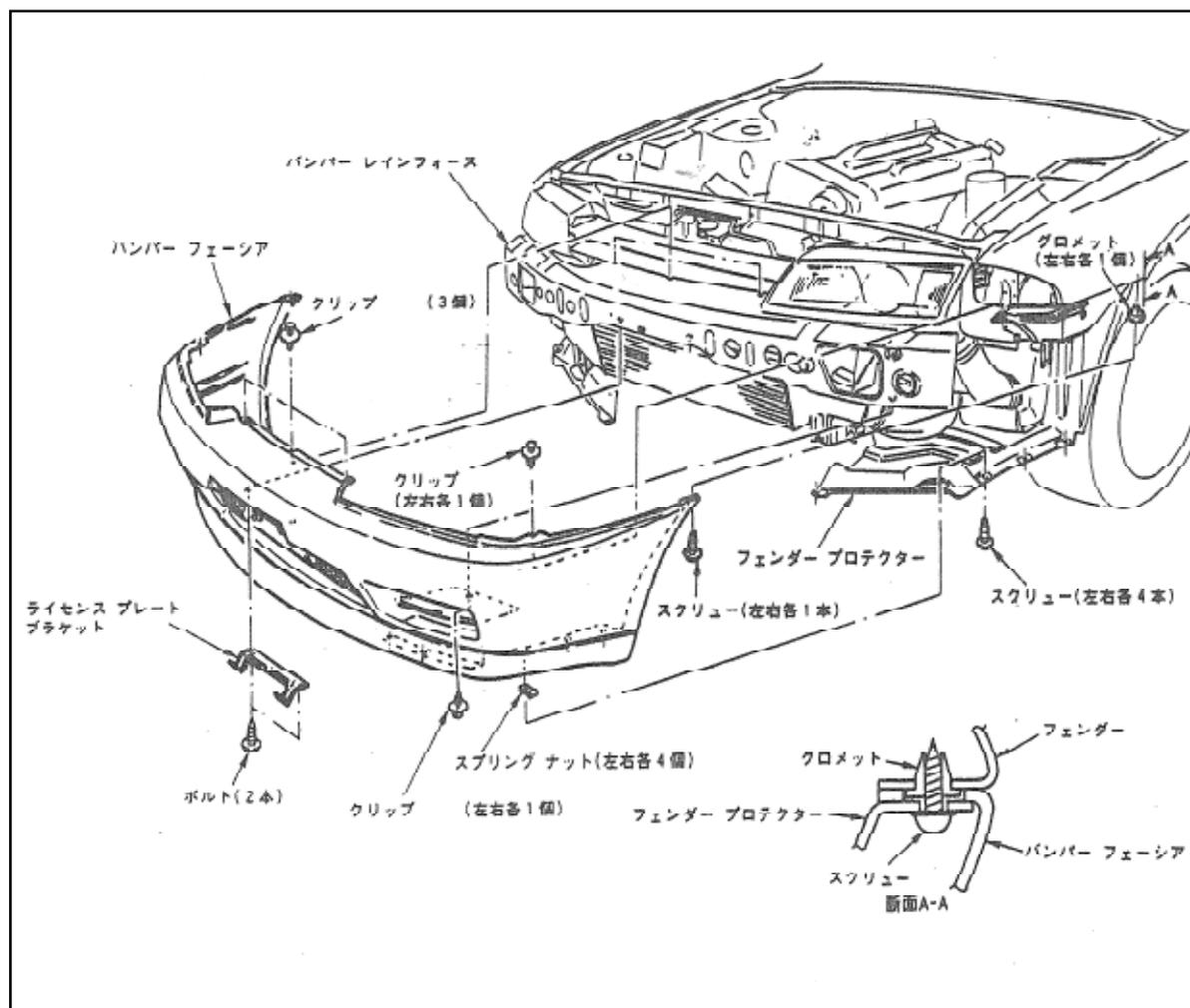


【ポイント2】 固定用クリップの取り外し。  
固定用クリップをフードロックステーの後  
側からプライヤーで、はさんで外して下  
さい。

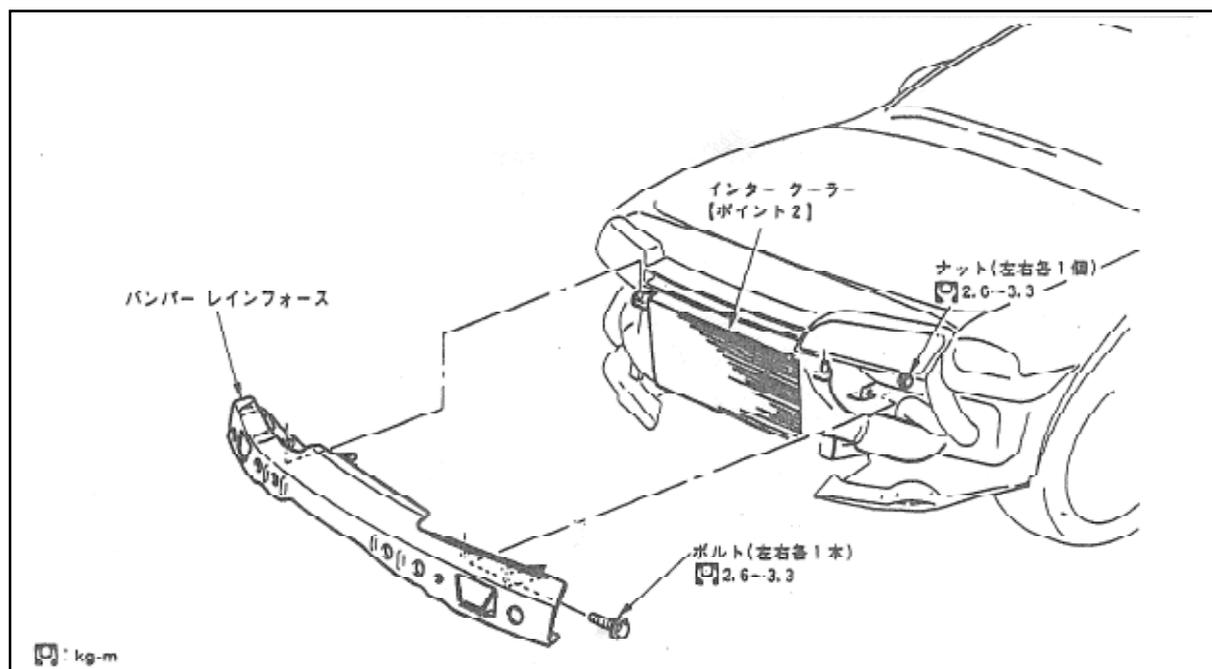
(4)フロントコンビネーションランプを取り外して下さい。



(5)バンパーフェーシアを取り外して下さい。



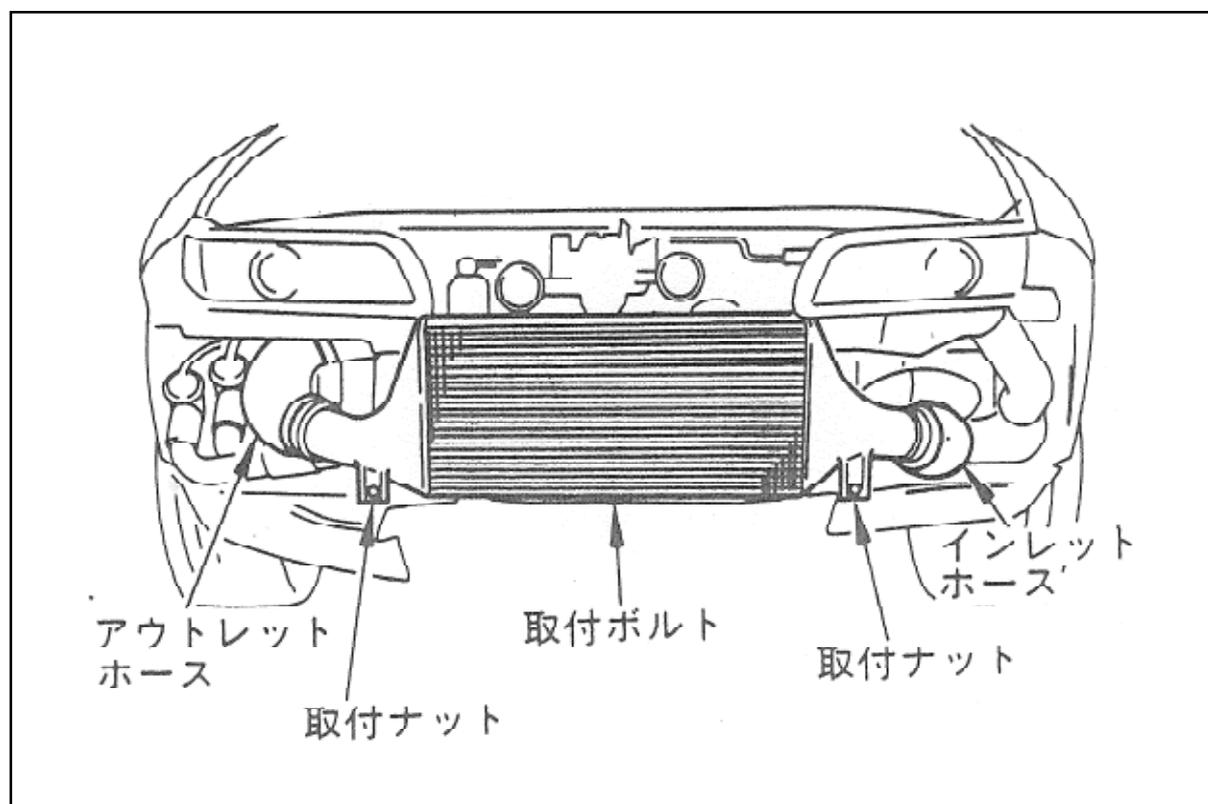
(6)バンパーレインフォースを取り外して下さい。



(7)取付けボルト1本、ナット2個を外し、フィン部に傷を付けない様にしてインタークーラーを取り外して下さい。

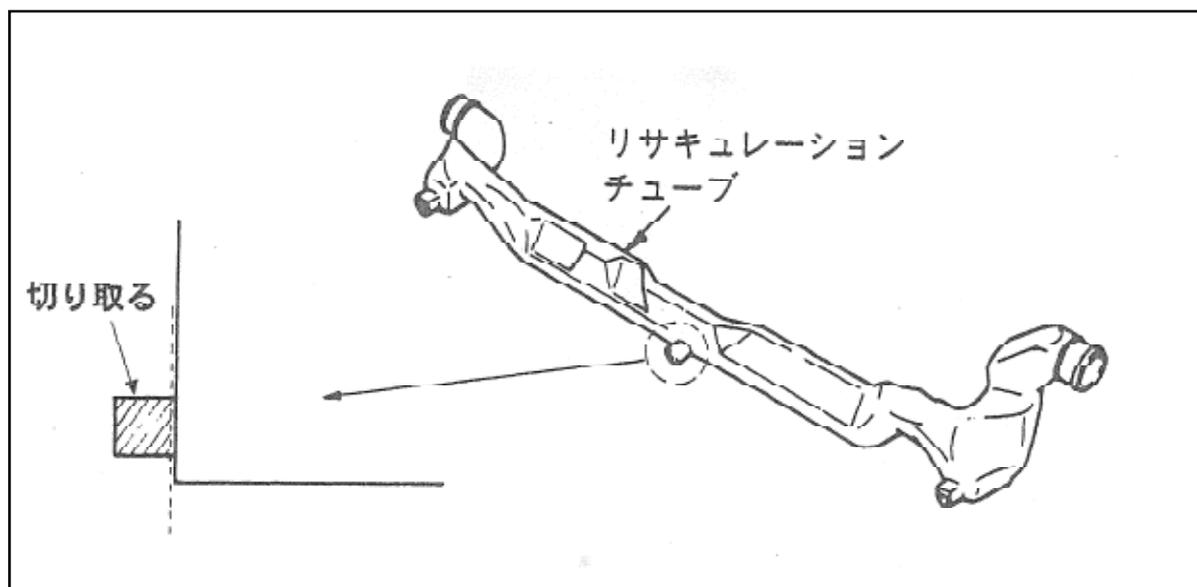
■アルミ製フィンを採用しているため、インタークーラーの上に物を乗せたり、工具などをフィン部に当てたりしないで下さい。

■本体(タンク、フィンチューブ)は分解不可です。

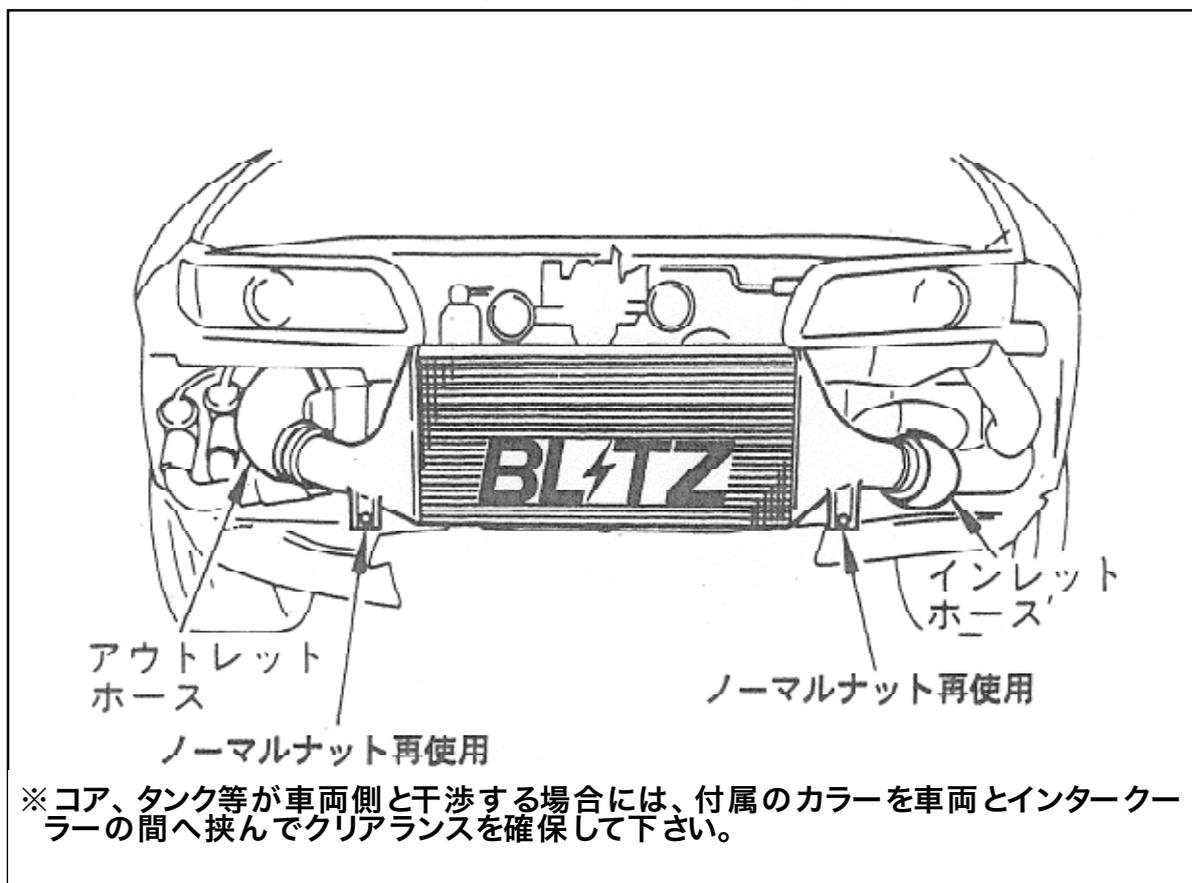


## 2 キット内パーツ取り付け。

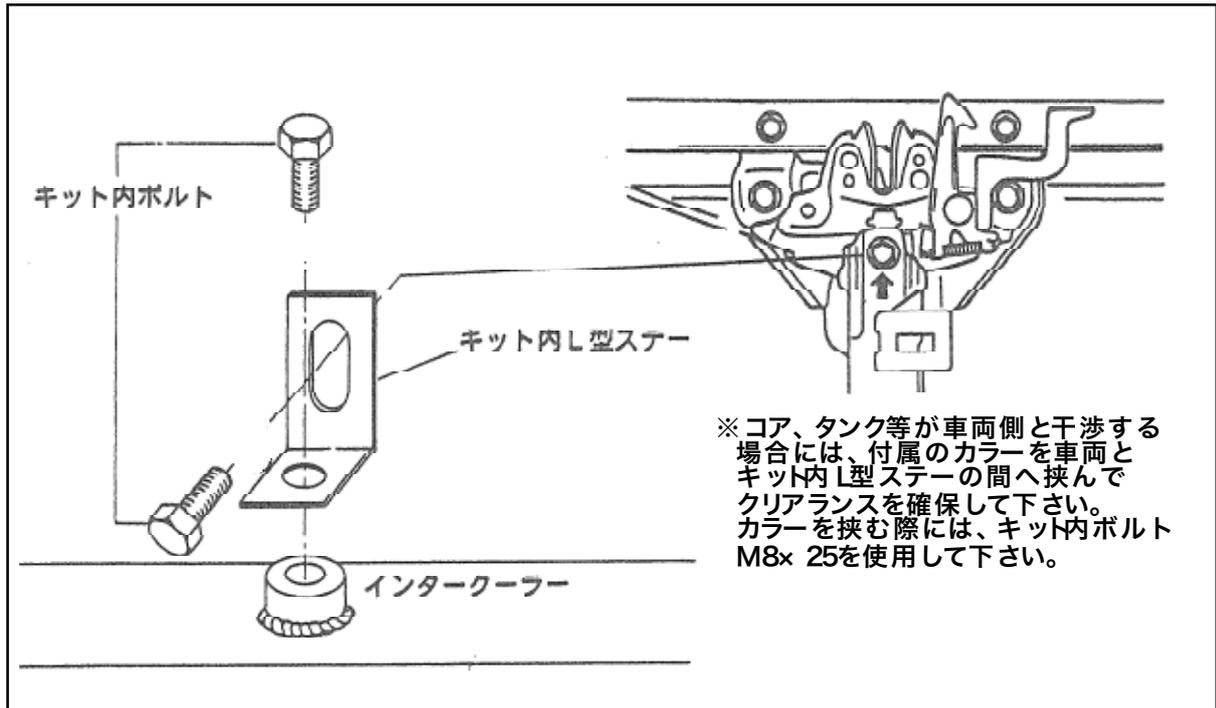
- (1)リサキュレーションチューブをホコリやゴミに注意して取り外し、ボスを切り取り、リサキュレーションチューブを取り付けて下さい。



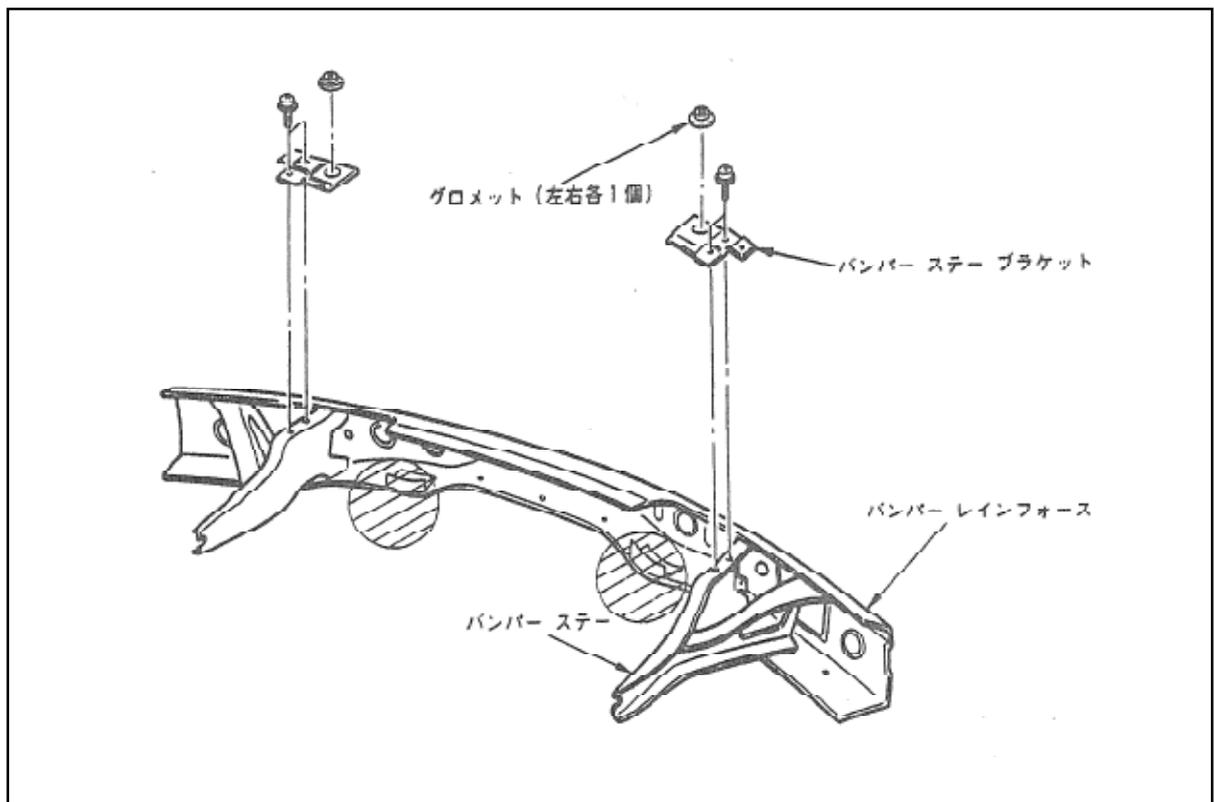
- (2)キット内インタークーラーをホコリやゴミに注意し、フィン部に傷を付けない様にして取り付けて下さい。



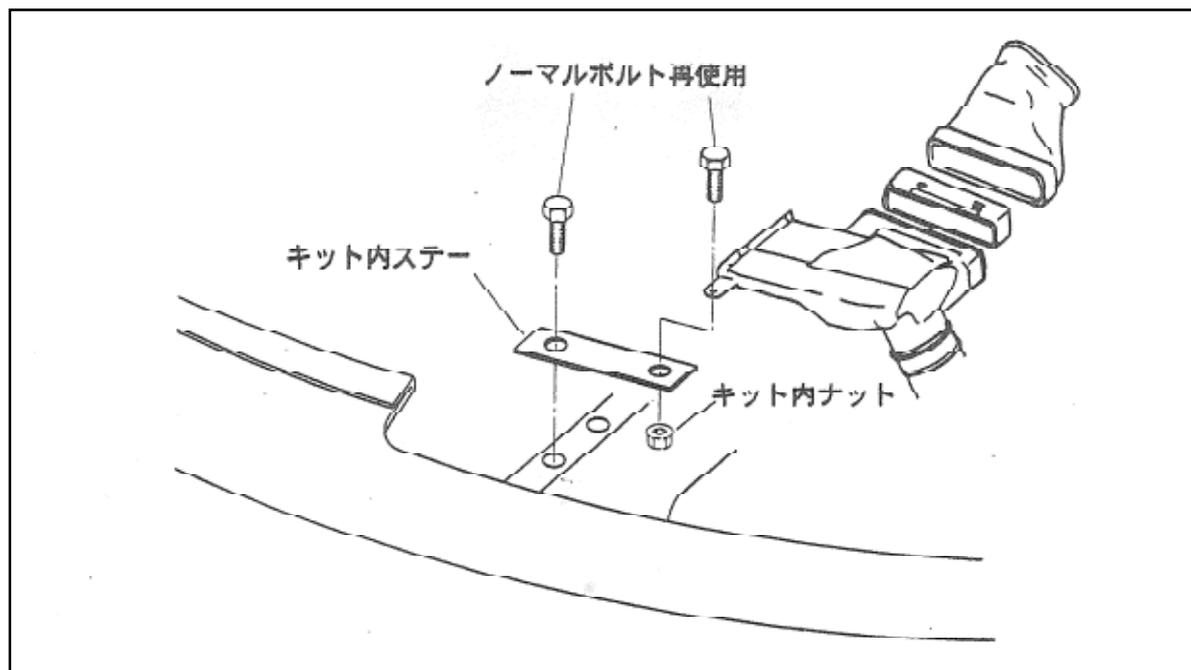
(3)キット内のL型ステーとボルトでインタークーラーを平行になる様に固定して下さい。



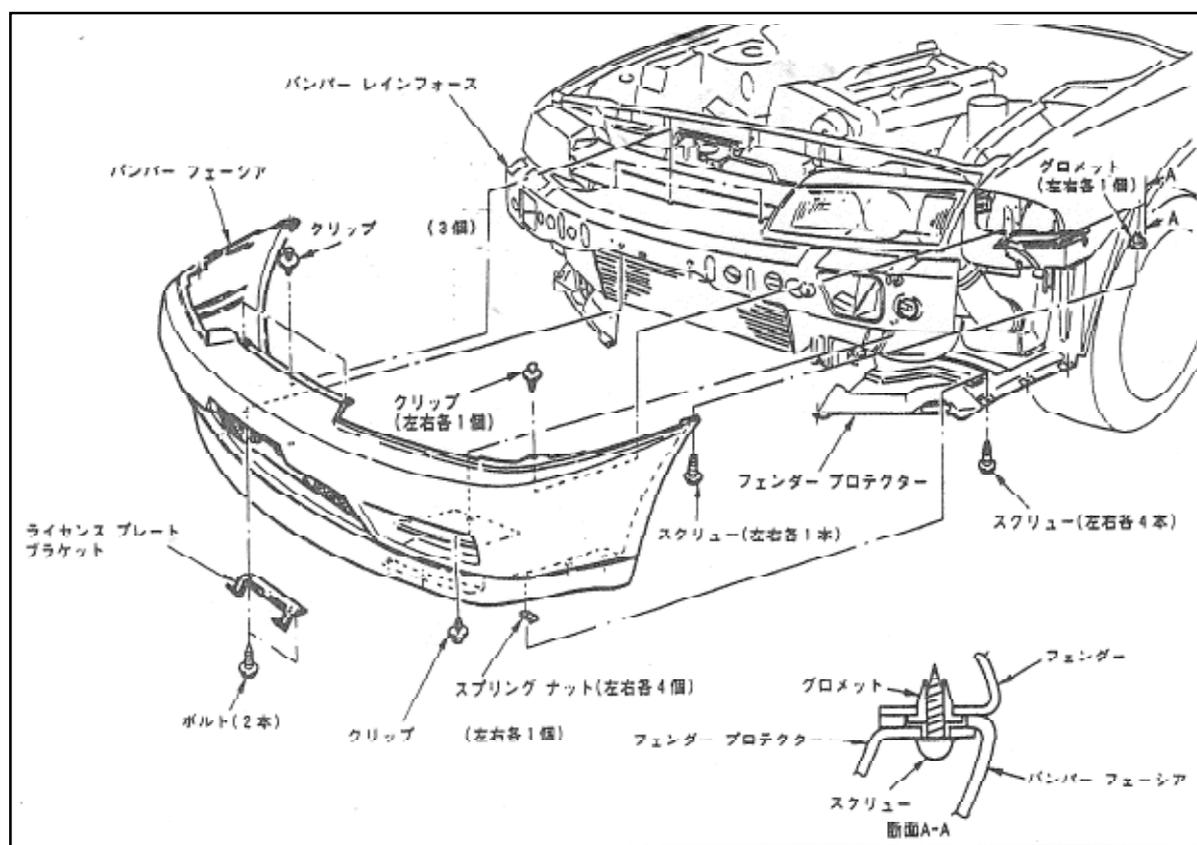
(4)取り外したバンパーレインフォースの左右のバンパーステーブラケットを取り外し、②部のインタークーラーに当たる部分を切り取ってバンパーレインフォースを取り付けて下さい。



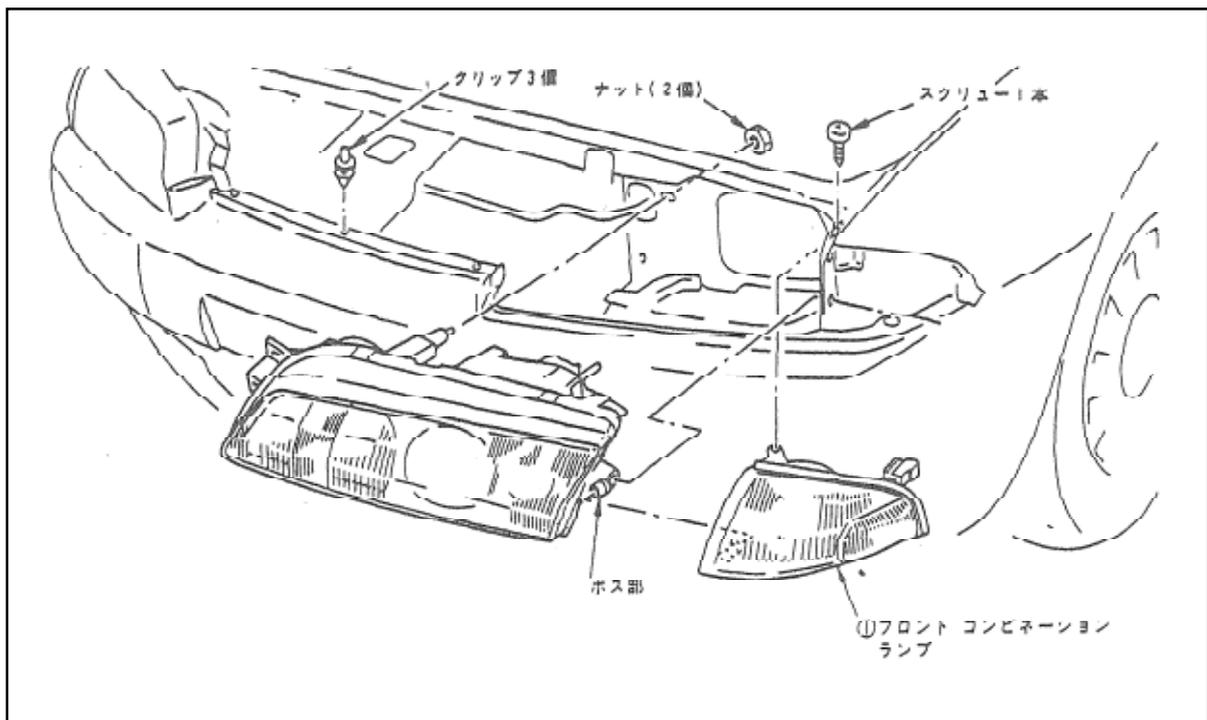
(5)キット内ステー、ナット、ノーマルボルトを使用してエアダクトをバンパーレインフォースに固定して下さい。



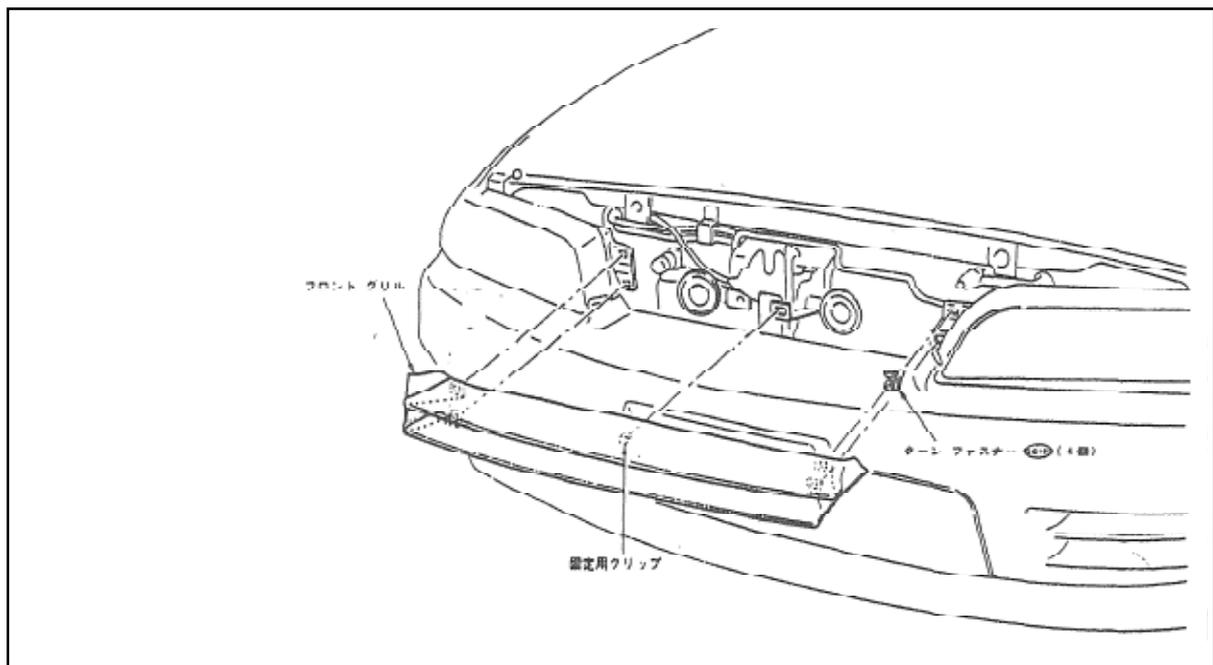
(6)バンパーフェーシアのインタークーラーカバーを取り外し、バンパーフェーシアにインタークーラーが当たる部分を削り、バンパーフェーシアを取り付けて下さい。



(7)フロントコンビネーションランプを取り付けて下さい。



(8)フロントグリルを取り付けて下さい。



(9)バッテリー⊖端子と、ナンバープレートを取り付けて下さい。

### 3 確認 製品取り付け後に確認して下さい。

■ターンシグナルランプが点灯するか確認して下さい。

■各部品はしっかりと固定されているか、エア洩れはないか確認して下さい。

長時間走行したときに部品等が外れますと、運転に支障をきたしたりエンジン不調の原因となり危険です。

■インタークーラーの配管を間違えていないか確認して下さい。また、配管が確実に接続されているか確認して下さい。配管に不具合がありますと、本体の作動不良の原因となります。最悪の場合は、エンジン破損の原因となります。

■配線・配管の取り回しは、周囲の部品との干渉に注意して下さい。可動部と接触したり、長時間の走行で配線・配管に傷が付いたり配線ショートを起こしたりしますと最悪の場合は、エンジン破損の原因となります。

■テスト走行を行ない、ブースト圧とノッキングの確認をして下さい。

# R 3 3 G T - R 組付作業手順

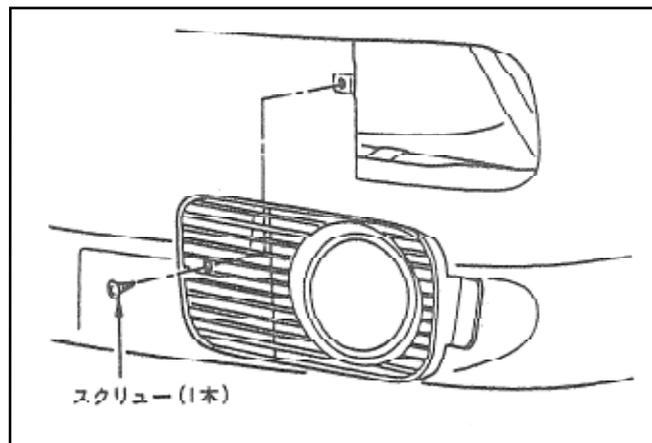
作業の方へお願い。

■作業が終了しましたら、本取扱説明書は必ずお客さまに返却して下さい。

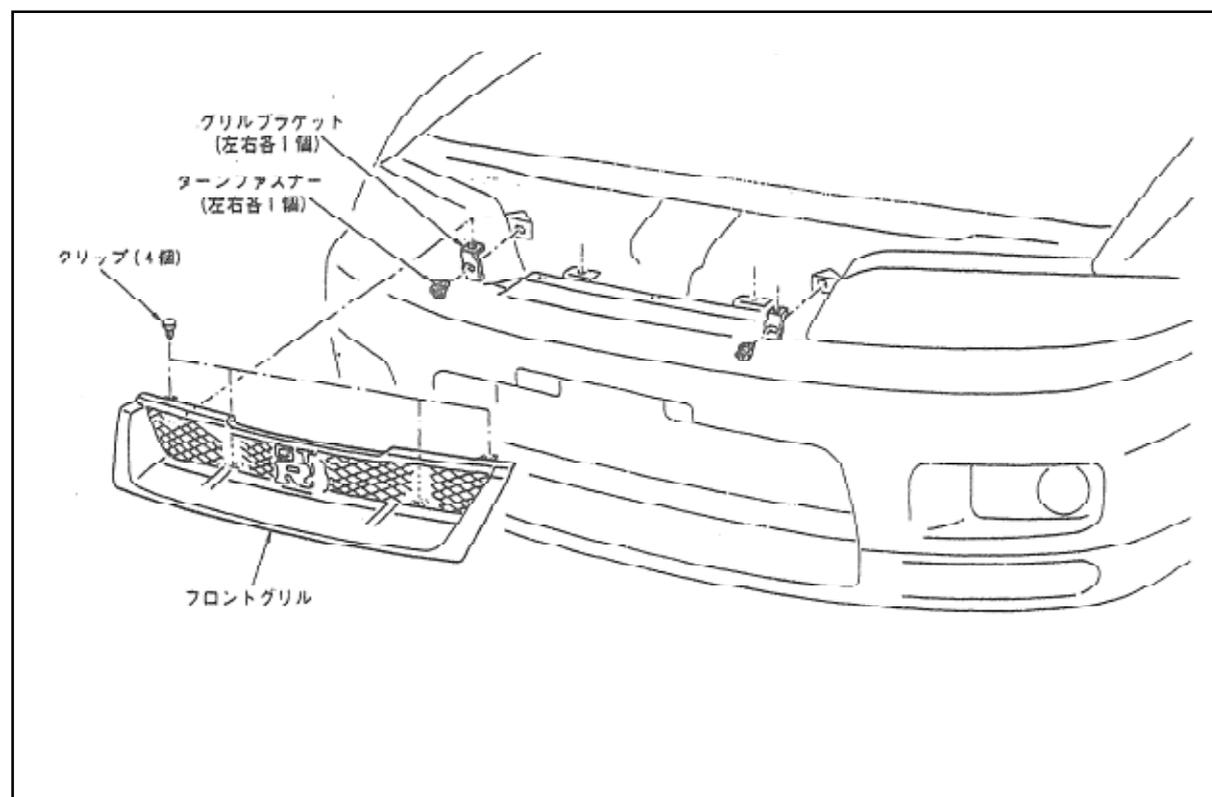
## 1 ノーマルパーツ取り外し。

(1) トランクルーム内のバッテリー端子を取り外して下さい。

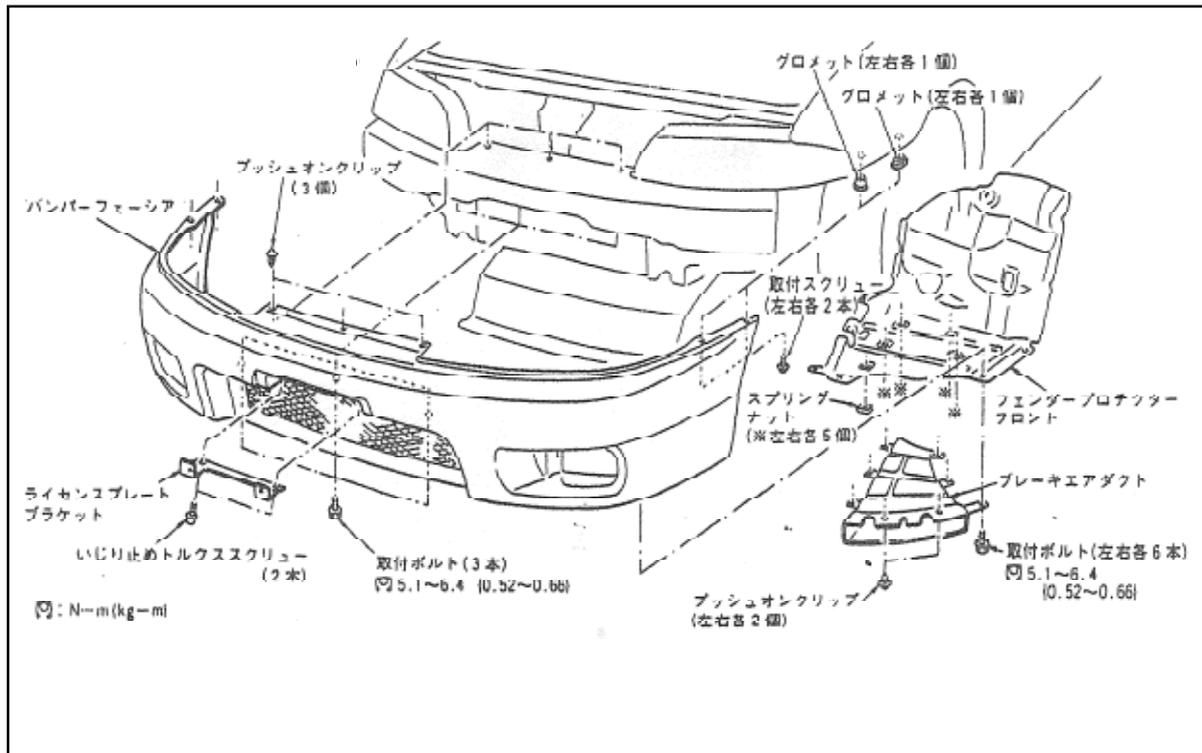
(2) フロントターンシグナルランプを取り外して下さい。



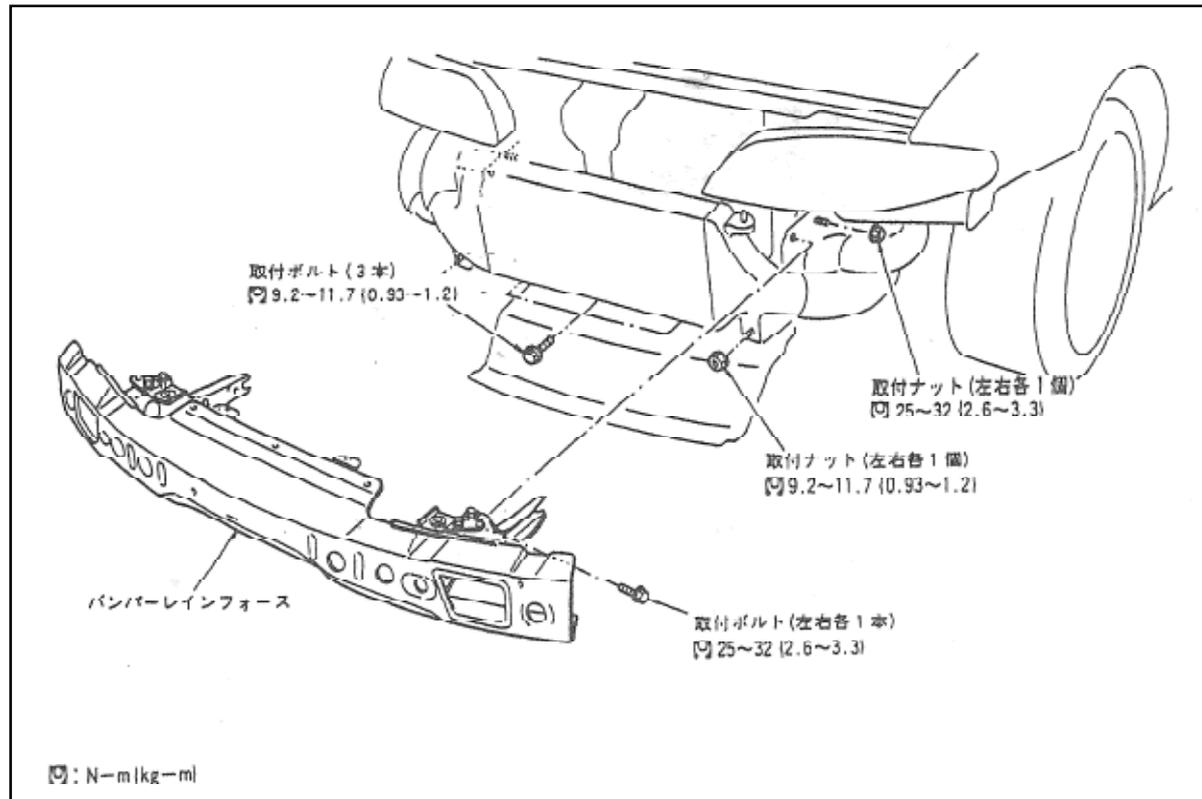
(2) フロントグリルを取り外して下さい。



(3)バンパーフェーシアを取り外して下さい。



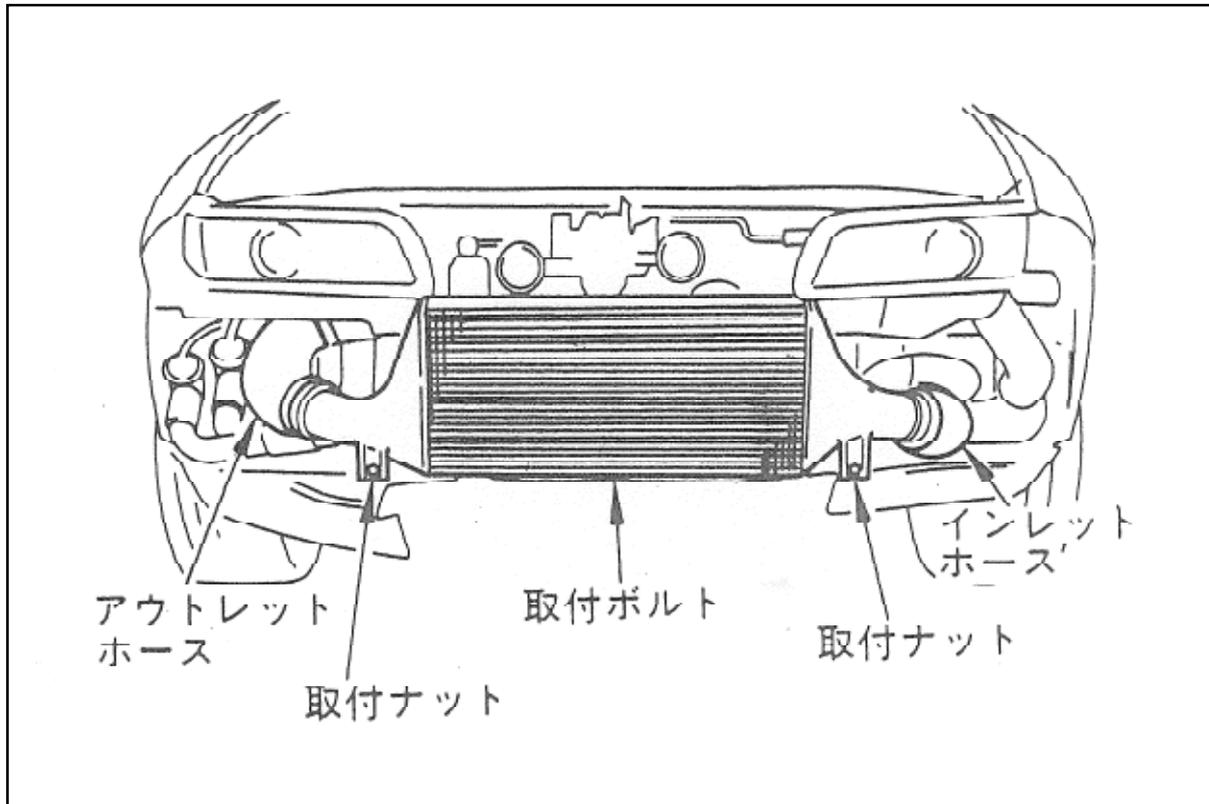
(4)バンパーレインフォースを取り外して下さい。



(1) 取付けボルト1本、ナット2個を外し、フィン部に傷を付けない様にしてインタークーラーを取り外して下さい。

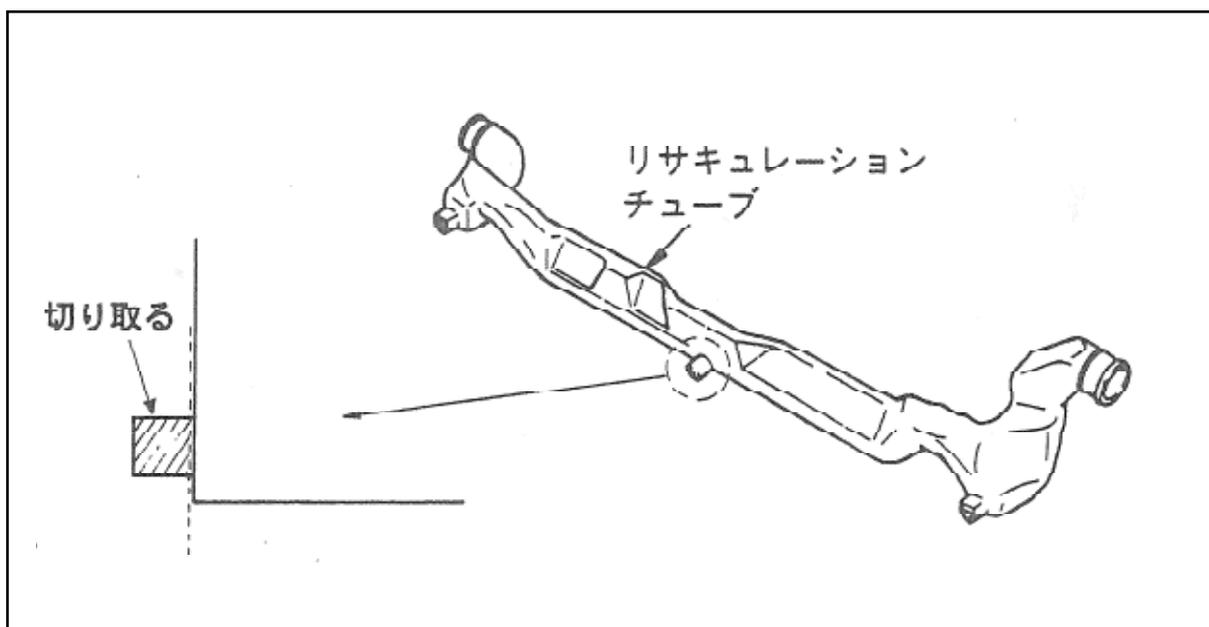
■アルミ製フィンを採用しているため、インタークーラーの上に物を乗せたり、工具などをフィン部に当てたりしないで下さい。

■本体(タンク、フィンチューブ)は分解不可です。

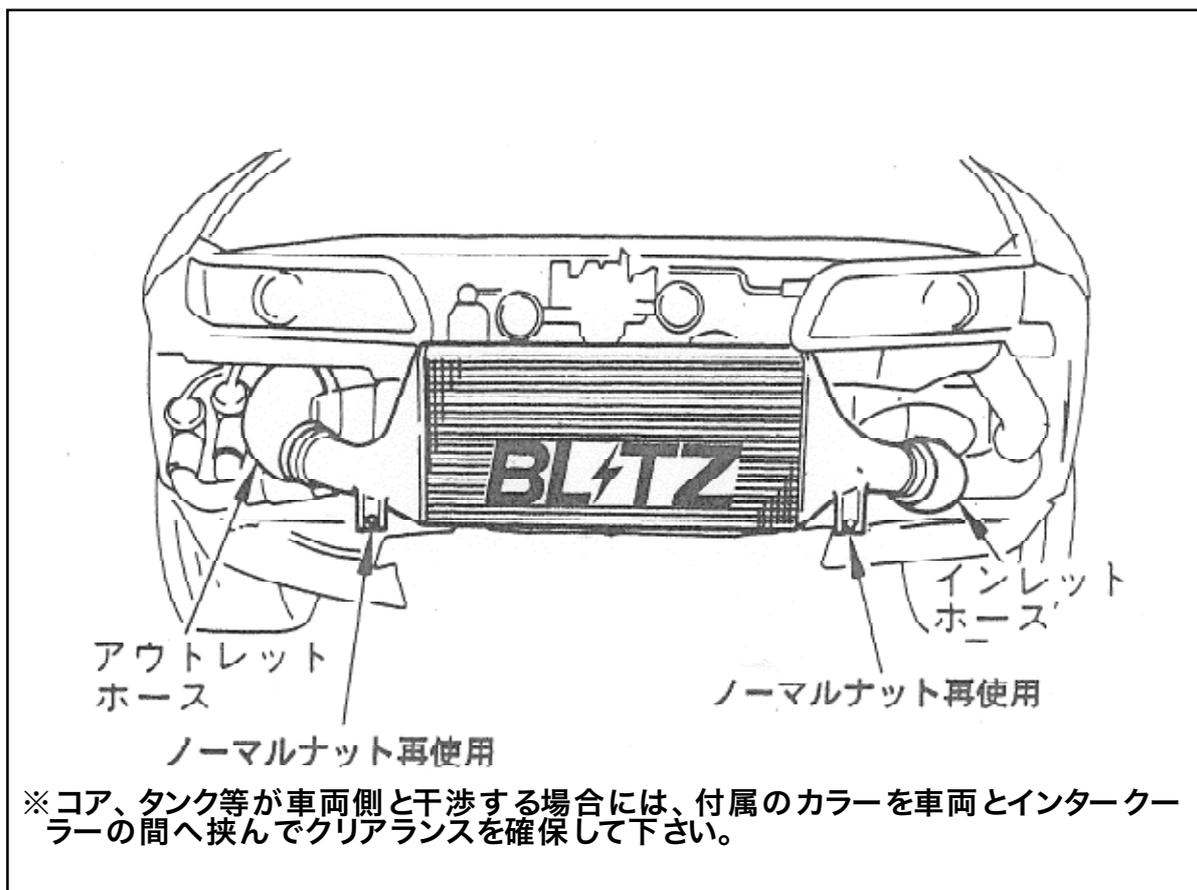


## 2 キット内パーツ取り付け。

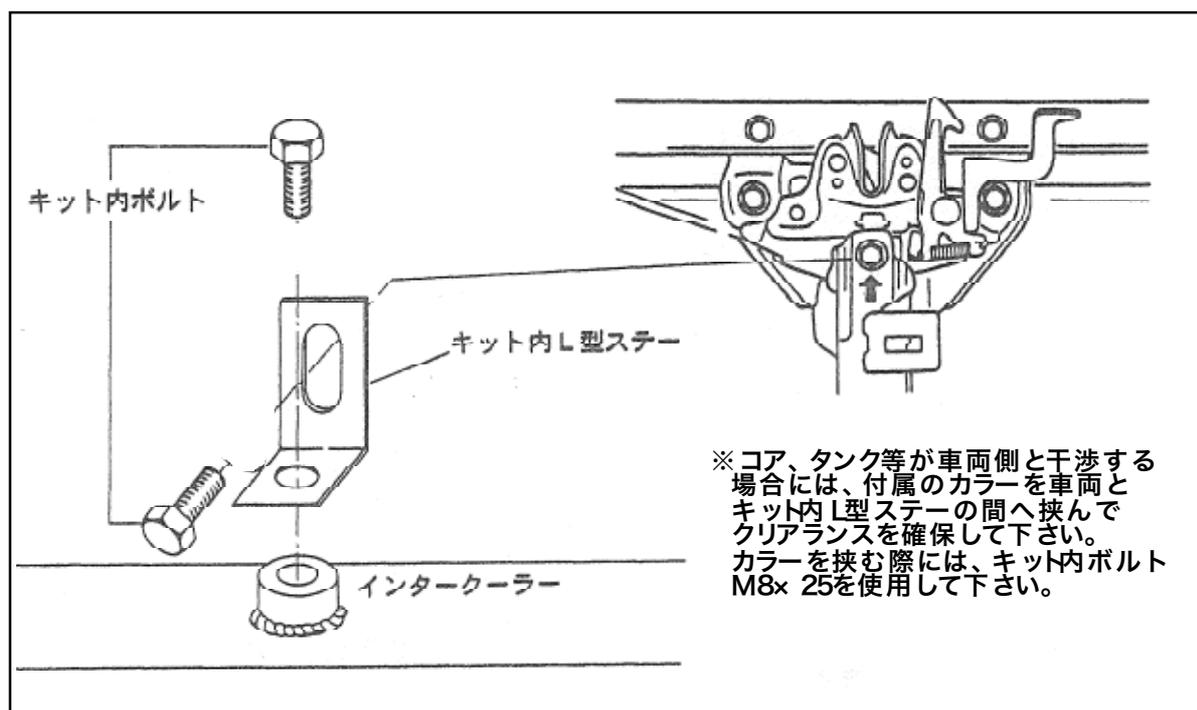
(1) リサキュレーションチューブをホコリやゴミに注意して取り外し、ボスを切り取り、取り付けて下さい。



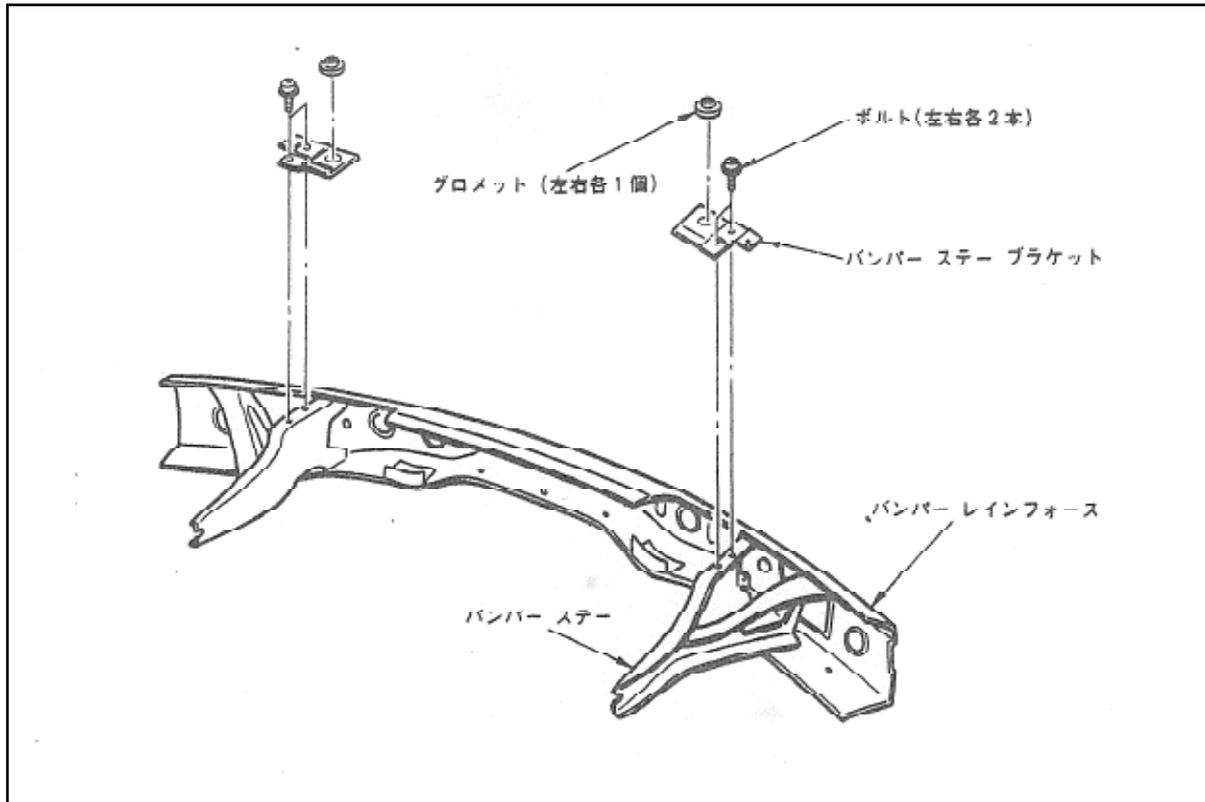
(2)キット内インタークーラーをホコリやゴミに注意し、フィン部に傷を付けない様にして取り付けて下さい。



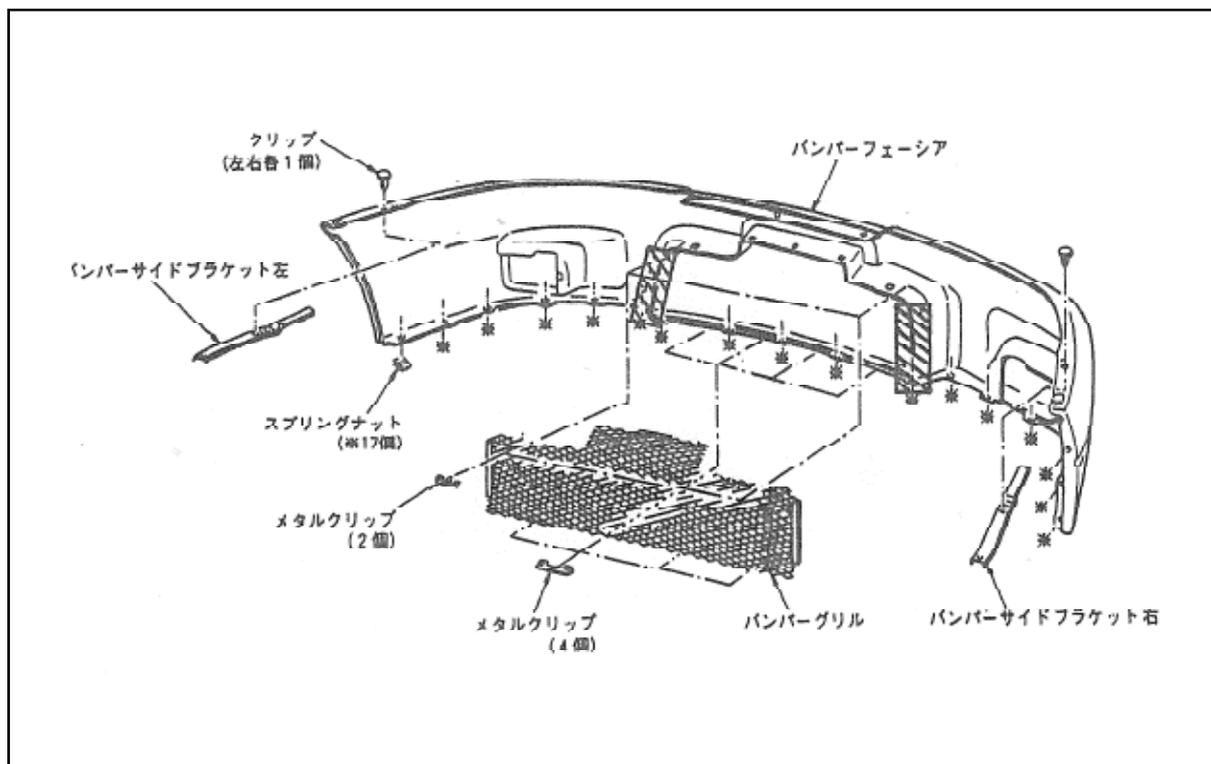
(3)キット内のL型ステーとボルトでインタークーラーを平行になる様に固定して下さい。



(4) 取り外したバンパーレイnfォースの左右のバンパーステーブラケットを取り外し、バンパーレイnfォースを取り付けて下さい。



(5) バンパーフェーシアからバンパーグリルを取り外しインタークーラーと当たる  の部分を少し削りバンパーフェーシアを取り付けて下さい。



(9) バッテリー ⊖ 端子と、ナンバープレートを取り付けて下さい。

### 3 確認 製品取り付け後に確認して下さい。

■ターンシグナルランプが点灯するか確認して下さい。

■各部品はしっかりと固定されているか、エア洩れはないか確認して下さい。  
長時間走行したときに部品等が外れますと、運転に支障をきたしたりエンジン不調の原因となり危険です。

■インタークーラーの配管を間違えていないか確認して下さい。また、配管が確実に接続されているか確認して下さい。配管に不具合がありますと、本体の作動不良の原因となります。最悪の場合は、エンジン破損の原因となります。

■配線・配管の取り回しは、周囲の部品との干渉に注意して下さい。可動部と接触したり、長時間の走行で配線・配管に傷が付いたり配線ショートを起こしたりしますと最悪の場合は、エンジン破損の原因となります。

■テスト走行を行ない、ブースト圧とノッキングの確認をして下さい。

# R34 GT-R 吸気温度センサー取付手順

## 重要事項

- 作業には穴あけ、ねじ切りの加工が伴うため、専門知識、加工技術、特殊工具が必要です。専門の整備工場等での作業をおすすめします。
- 予め新品のガスケットを用意しておいて下さい。

- 1) 内部にアルミの切り粉がなるべく入らない様、しっかりと養生を行って下さい。(図1)
- 2) タンクにセンサー台座が作ってありますので、ガスケットをあてがい、センサー位置を決めてから、穴を開ける位置へピンポンチを打ち込みます。(図2)  
※ ポンチ位置と穴径に関しては、図3を参照して下さい。



図1



図2

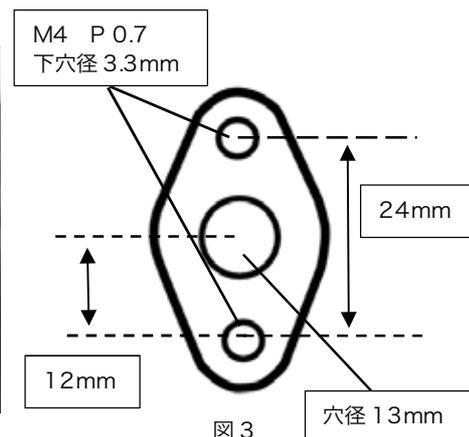


図3

- 3) ポンチの位置が図3の寸法通りになっているか必ず確認してから、穴を開けて下さい。穴を開けたら中心の穴のバリを取って下さい。(図4、5)
- 4) 外側の穴に M4 P0.7 のタップでねじを切ります。(図6)



図4



図5



図6

- 5) タンク内へ落ちた切り粉をきれいに取った後、内部のエアブローを念入りに行なって下さい。
- 6) 純正インタークーラーより吸気温度センサーを移植します。(図7)  
※ 商品のセンサー取付部は面出し処理をしておりません。新品のガスケットを使用すると共に、液体ガスケットを併用してシーリングして下さい。



図7





**BLITZ**